東日本高速道路株式会社　北海道支社
支　社　長　　宮入　徹往

質問書に対する回答

（件名）札樽自動車道　新光バスストップ通路上屋新築工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回　　答
1	監督員詰所に備品（机・椅子）は何セットを考えればよろしいでしょうか。	監督員3名を含む6名程度が参加して打合せ可能な室、机・椅子を1セットご準備ください。
2	足場を設置する地盤面は凸凹状態でしょうか。また足場の壁繋ぎを鋼製矢板から溶接で繋いでも良いでしょうか。ご指示ください。	足場を設置する地盤面は、一般的な法面となっております。 足場の壁つなぎについては、鋼製矢板に化粧壁を設置する計画があるため､化粧壁にあと施工アンカーにて設置してください。
3	S-07図にて平板載荷試験を3カ所実施と記載していますが､土木工事の埋戻後なので建築工事の範疇ではないと思うのですがご指示ください。	S-07図に記載のとおり、建築工事にて実施してください。
4	S-09図に記載されている通り全ては、土木擁壁天端にC1柱が建っていますが､C1用のアンカーボルトは土木工事でアンカーセットになるのでしょうか。ご指示ください。	S-09図上段の「通路上屋2」に係るアンカーボルトは、土木工事にてアンカーセットを行います。同図面下段の「バス待合所」に係るアンカーボルトは、本工事にてアンカーセットを行ってください。
5	S-11図、鋼製階段ササラ桁の上にC1柱が建っていますが、ベースの固定方法のご指示ください。	S-15図の「C1柱脚詳細図」に記載のとおり、M22中ボルトおよびダブルナットにより固定してください。

番号	質問事項	回　　答
6	S-13 図及び S-14 図の土木擁壁キャンテ梁上に C1 柱が建っていますが、アンカーボルトは土木工事でアンカーセットになるのでしょうか。ご指示ください。	当該箇所については、本工事にてアンカーセットを行ってください。
7	S-15 図鉄骨詳細図に鋼管擁壁と（FS1＋増コン）の間の空間はどのように成っていますか。また、鋼製矢板（内側）はコンクリート擁壁になっているのでしょうか、ご指示ください。	鋼管擁壁と建物基礎（増し打ちコンクリート施工箇所）の間は、コンクリート構造となります。また、鋼製矢板と建物基礎（増し打ちコンクリート施工箇所）の間も、同様にコンクリート構造となります。
8	特記仕様書 1-5-2　部分使用が一期工事 R9 年 8 月予定になっていますが、バス等が工事車両進入口から進入すると、危険でニ期工事の工事全般の施工が不可能となります。どのようなお考えでしょうかご指示ください。	第Ⅰ期工事完了後は、車線規制の切替えにより建設工事範囲を変更する計画としております。バス等が工事車両進入口から進入することはございませんので､施工は可能とお考えください。

以　　上